

偉大な発明

本日は、「発明の日」です。明治18年4月18日に日本の特許制度が始まったことを記念し、昭和29年に当時の通商産業省が決定しました。

特許制度をはじめとする産業財産権制度の普及・啓発を図ることを目的とした記念日です。

特許制度が始まってから現在まで、数々の発明が生み出されてきました。それにより、人々の生活は便利になり、社会が発展してきたのです。

特許庁では、日本の歴史的な発明家10名を選出し、「十大発明家」としてホームページで紹介しています。

その10名には木製人力織機を作ったトヨタグループの創始者、豊田佐吉、養殖真珠を生み出した御木本幸吉、うまみ成分のグルタミン酸ソーダから「味の素」を製造した池田菊苗、ビタミンB1の抽出に成功した鈴木梅太郎などが挙げられています。日本だけでなく、世界にも影響を与えた大発明家ばかりです。現在、私たちが使っている技術は、先人たちが積み重ねた研究の上に成り立っています。偉大な発明に感謝し、それらをさらに発展させ、後世に遺す努力を続けたいものです。

今日の言葉 発明が社会を豊かにします

今日の気付き

十大発明家

特許庁が昭和60年（1985年）、工業所有権制度創設100周年を記念し定めた。豊田佐吉（木製人力織機）、御木本幸吉（養殖真珠）、高峰譲吉（アドレナリン）、池田菊苗（グルタミン酸ソーダ）、鈴木梅太郎（ビタミンB1）、杉本京太（邦文タイプライター）、本多光太郎（KS鋼）、八木秀次（八木アンテナ）、丹羽保次郎（写真電送方式）、三島徳七（MK磁石鋼）の10名。

コメント